

令和4年度第1回刈谷市男女共同参画審議会（書面会議）【議事録】

審議会委員：相羽 孝彦、近藤 和弘、下村 華代、杉浦 登喜子、鈴木 万里子、
高橋 靖子、竹上 富彦、田中 真理佳、西尾 實千恵、正木 卓、
山根 真理、横井 寿史（50音順）

事務局：渡部課長、小原補佐、柴田係長、久世、前川

< 議題 >

（1）第2次刈谷市男女共同参画プランの進捗状況について

< 第2次刈谷市男女共同参画プランの進捗状況について >

【委員からの主な意見】

○パパスイッチがコロナにより中止とあり、他の講座についてもいくつかそのような記載があったが、オンラインによる実施が当たり前になってきているので、開催方法などを工夫してできるだけ開催する方がよい。特に在宅勤務が増え、男性も家にいることが多くなっていると思われるため、父親の家事や育児に対する当事者意識を持ってもらう良い機会だと考える。

○新型コロナウイルスの影響で一部の施策が中止となっているが、それ以外はほとんどの項目が目標達成・70%以上の達成となっており、問題ないと考える。

○コロナ禍の中で、①学習・啓発事業、②女性リーダー育成、③女性活躍の場の創出、の達成率が低くなっているように思う。コロナ禍の中で対面の機会が持ちにくく、やるべき事業が多くある中、優先順位が下位になりがちだと思うが、上記の事柄は常に、たゆまず行い続ける必要がある。オンライン、オンデマンド等の代替的方法も工夫しながら、ポストコロナ時代におけるスタイルを作ると良いのではと考える。

<その他>

【委員からの主な意見】

○育児休業法の改正があり、男性の育児休業取得率向上の機運を上げる絶好のタイミングだと思うので、積極的に講座やセミナーを開催してはどうかと考える。

○次世代を担う大切な子どもたちが、性にこだわる事なくお互い支え合って頑張れば、明るい未来があるのだと希望の持てる社会を作る事が今の大人たち（自分）の任務と感じている。